

平成 2 1 年度

事業報告および収支決算書

(平成 2 1 年 4 月 1 日から平成 2 2 年 3 月 3 1 日まで)

財団法人 泉 屋 博 古 館

事 業 報 告 書

【本館】

・美術工芸品の保存・公開並びにこれらに関する調査研究

(イ) 保 存

文化財の保存修理に関しては次の通り実施した。

(1) 美術品の修理・保存

下記1点の作品を修理した。

・舍利容器「^{とぎんかく}鍍金槲」の仁王像固定修理（3月完了）。

(2) 美術品の移管作業

本館・分館巡回展「幻の京焼 京都瓢池園^{ひょうちえん}」展のため、広誠院・宮永東山氏・清水六兵衛氏及び広瀬歴史記念館より平成21年5月から8月にかけて作品を借用し、12月に返却した。

本館「雅なる香の世界」展に出品した香道具を平成21年7月に分館に返却した。

本館「富岡鉄斎」展のため鉄斎作品を平成21年6月に分館より移動し、平成22年3月に返却した。

本館「住友コレクションの近代洋画」展のため洋画を平成22年3月に分館より移動した。

(ロ) 公 開

(1) 1号館では下記の常設展を開催した。

平成21年 3月14日～ 4月26日 「中国青銅器の時代」

平成21年 5月 2日～ 6月28日 " "

平成21年 9月 1日～ 10月12日 " "

平成21年10月24日～ 12月 6日 " "

平成22年 3月 6日～ (6月27日) " "

(2) 2号館では下記の企画展を開催した。

平成21年 3月14日～ 4月26日 「住友コレクションの中国絵画」

平成21年 5月 2日～ 6月28日 「雅なる香りの世界」

平成21年 9月 1日～ 10月12日 「特別展 幻の京焼 京都瓢池園^{ひょうちえん}」

平成21年10月24日～ 12月 6日 「富岡鉄斎 - 墨に戯れ、彩に遊ぶ」

平成22年 3月 6日～ (6月27日) 「住友コレクションの近代洋画」

(3) 当期の入館者の状況は次のとおり。

公開日数は202日、一日平均約70人の入館者があった。

	平21 4	5	6	7	8	9	10	11	12	平22 1	2	3	計	前年度	前年比
公開日数	23	27	24	10	8	27	18	25	9	4	5	22	202	212	10
有料	953	764	1,048	0	0	911	684	1,590	571	0	0	1,009	7,530	7,257	273
優待	1,783	472	854	275	96	436	728	1,047	365	25	59	386	6,526	7,309	783
計	2,736	1,236	1,902	275	96	1,347	1,412	2,637	936	25	59	1,395	14,056	14,566	510

(八) 調査研究

(1) 資料調査研究

九州国立博物館と共同で館蔵青銅器のエックス線CT解析調査を実施した。その成果の一部を日本文化財科学会（名古屋大学開催）、日本中国考古学会（筑波大学開催）、中国科学院學術報告会（北京中国科学院自然史研究所）で口頭発表し、さらに紀要26巻に論文を発表した。

寄託の木彫毘沙門天立像と館蔵金銅仏について、九州国立博物館でエックス線CT解析調査を実施した。

館蔵江戸時代貨幣（寛永通寶）について、蛍光エックス線分析を実施した。

「幻の京焼 京都瓢池園」展開催にむけ、東京瓢池園・京都瓢池園作品他関連資料の調査を実施した。

平成21年の図録刊行に向け、館蔵日本絵画作品の調査を実施した。

有芳園の本家蔵品整理に協力し、住友家所蔵作品調査を実施した。

(二) 普及活動

(1) ミュージアムボランティア

京都市の教育施策への協力（生涯学習）と、当館青銅器の普及活動を目的として、平成16年度よりミュージアムボランティア活動を実施中。開館期間中は毎日午後、2～4名の体制で来館者に対して常設青銅器・鏡鑑の列品解説を行っている。

この活動は来館者、ボランティア双方から好評を博しており、今後とも継続して実施する予定。さらに21年6月新規募集を行ったところ15名の応募があり、人員の充実を図った。下記の通り研修を実施した。

- ・継続フォローアップ研修 講師 廣川守
 - 「展示青銅器作品詳述」4講座 平成21年7月～8月
 - 「青銅器CT画像説明」3講座 平成22年2月～3月
- ・新規応募者対象研修 講師 廣川守
 - 「青銅器概説」12講座 平成21年6月～9月
 - 「展示説明」2講座 平成22年1月～2月

(2) 列品解説・特別講座の実施

開館期間中、学芸員による列品解説を計12回実施した。

中国青銅器の時代	平成21年	4月18日	参加人数	23名
	平成21年	6月20日	参加人数	18名
	平成21年	9月26日	参加人数	10名
	平成21年	11月7日	参加人数	7名
	平成22年	3月13日	参加人数	12名
雅なる香りの世界	平成21年	5月16日	参加人数	18名
	平成21年	5月23日	参加人数	23名
	平成21年	6月6日	参加人数	36名
幻の京焼京都瓢池園	平成21年	9月12日	参加人数	24名
	平成21年	10月10日	参加人数	28名
富岡鉄斎	平成21年	10月31日	参加人数	30名
	平成21年	11月21日	参加人数	38名
住友コレクションの近代洋画	平成22年	3月27日	参加人数	20名

(3) 特別鑑賞会の実施

前年度に引き続き、入館者増対策の一環として「学芸員による展示品の解説」と「非公開住友庭園の見学」をセットにした特別鑑賞会を4回実施した。

第1回目	平成21年	6月4日	参加人数	16名
第2回目	平成21年	6月5日	参加人数	19名
第3回目	平成21年	10月1日	参加人数	20名
第4回目	平成21年	10月2日	参加人数	20名

(4) 各学芸員の執筆活動

・廣川 守

「X線CTを利用した中国古代青銅彝器の構造解析」(『日本文化財科学会第26回大会研究発表要旨集』、2009年7月)

「X線CTを利用した殷周青銅器の構造解析() - 館蔵爵・壘の調査」(『泉屋博古館紀要』第26巻、2010年3月)

『館蔵 殷周の青銅器』(根津美術館鑑賞シリーズ10、2009年10月)

・外山 潔

『幻の京焼 京都瓢池園』作品解説 2009年8月

・村山順一郎

「ISOTC202 SC2電子線マイクロプローブ分析装置(EPMA)」(『表面化学分析技術・マイクロビーム分析技術 国際標準化活動状況』2009年10月)

・美術工芸品に関する外部関係機関への調査協力等

(1) 収蔵品の貸出については以下の通り実施した。

・平成21年6月5日～9月25日

茶道資料館「文房具」展に「犀角筆洗」など文房具9点

- ・平成21年6月24日～平成22年3月30日
三井記念美術館・大阪市立美術館・長崎歴史博物館「道教の美術」展に
「鍍金魁星像」
- ・平成21年7月31日～3月3日
九州国立博物館「海の道、アジアの路」展に鱗文簋など商周青銅器18点、
銅鐸など日本青銅器5点。
- ・平成21年12月11日～3月3日
九州国立博物館「進化する博物館」展に匱侯旨鼎など商周青銅器15点。
- ・平成21年12月11日～平成22年7月(予定)
九州国立博物館「海の道、アジアの路」展に己侯鐘など商周青銅器15点。
- ・平成21年9月25日～12月2日
大谷大学博物館「祈りと造形 - 韓国仏教美術の名品 - 」展に「楊柳觀
音」「鍍金如来立像」
- ・平成22年3月1日～
奈良国立博物館「大遣唐使」展に「石函」など3点。

(2)職員による館外講演

- ・平成22年2月27日 於：九州国立博物館公開セミナー
「中国古代青銅器の鑄造技術を探る - 住友コレクションの調査 - 」
(廣川守)
- ・平成22年3月6日 於：成城大学民俗学研究所公開講座
「住友コレクションの形成について」(外山潔)

(3)大学教育協力

- ・学芸員の非常勤講師出講
外山 潔 嵯峨芸術大学「東洋美術史研究」(平成21年4月～7月)
廣川 守 立命館大学「博物館概論」(平成21年4月～平成22年3月)
- ・博物館実習の実施
立命館大学、京都外国語大学、京都女子大学、京都光華女子大学、京都 精華大
学より合計10名の実習生を受入れ、平成21年9月1日～4日の4日間 実施した。

(4)その他外部研究機関・研究者に対する研究協力

外部研究機関・研究者に対して下記の通り研究調査に協力した。

- ・平成21年9月 9日 京都市立芸術大学 田島達也氏 日本画調査
- ・平成21年9月10日 同志社大学大学院 久留島元氏 日本画調査
- ・平成21年10月9日 実践女子大学 宮崎法子氏他 中国絵画調査
- ・平成21年12月1日 黒川古文化研究所 竹浪遠氏 中国絵画調査
- ・平成21年8月11日 大阪大谷大学大学院 安部久仁子氏 鏡調査
- ・平成21年10月12日 広島大学大学院 実盛良彦氏 鏡調査
- ・平成22年 2月 8日 学習院大学大学院 稲墻朋子氏 日本絵画調査
- ・平成22年 2月12日 野村美術館 城市真理子氏 日本絵画調査
- ・平成22年 3月7日 中国社会科学院 李裕群氏他 中国仏像調査

【分館】

・美術工芸品の保存・公開並びにこれらに関する調査研究

(1) 保 存

文化財の保存修理に関しては次の通り実施した。

(1) 美術品の修理・保存

べにじにじゅうひしつなぎちようはなのしもようからおり
紅地二重菱繫蝶花熨斗模様唐織 1領

こうはくもえぎだんせいがいはささうめさくらもようからおり
紅白萌黄段青海波笹梅桜模様唐織 1領

その他保存作業

木・漆・染織・紙製の工芸品・書画について防虫剤の入れ替え作業及び風通し作業を行った。

(2) 美術品の移管作業

平成21年2月～4月に「板谷波山をめぐる近代陶磁」展のため、茨城県陶芸館などより45件を借用し、6月に返却した。

平成21年7月～9月に「夏季特別展 高島屋史料館所蔵名品」展のため、高島屋史料館より、日本画・洋画作品62件を借用し、平成10月に返却した。

平成21年3月に「雅なる香りの世界」展のため、香道具など27件を本館に移動し、7月に返却を受けた。

平成21年6月に「富岡鉄齋」展のため、30件を本館に移動し、平成22年3月に返却を受けた。

平成21年10月、特別展「幻の京焼 京都瓢池園」のため、本館より出品作品の巡回を受け、12月に返却した。

(2) 公 開

(1) 下記の通り企画展・特別展を開催した。

平成21年4月18日～6月14日 「板谷波山をめぐる近代陶磁」

平成21年7月18日～9月27日 特別展「高島屋史料館所蔵名品展」

平成21年10月24日～12月13日 特別展「幻の京焼 京都瓢池園」

平成22年1月9日～3月14日 「春の^{よそお}妝い」

(2) 当期の入館者の状況は次の通りで、有料入館者は前年度比15%増、優待入館者は28%増で全体として21%の増加となった。公開日数は213日で、一日平均162名の入館者があった。

	平21 4	5	6	7	8	9	10	11	12	平22 1	2	3	計	前年度	前年比
公開日数	11	27	12	12	27	24	7	25	12	20	24	12	213	214	-1
有 料	585	1815	1195	1014	3128	2749	367	1546	996	1184	1221	664	16464	14300	2164
優 待	314	1200	1252	1062	2989	6112	253	834	871	588	1021	1449	17945	14069	3876
計	899	3015	2447	2076	6117	8861	620	2380	1867	1772	2242	2113	34409	28369	6040

(ハ) 調査研究

- (1) 館蔵の絵画、工芸品について各々担当学芸員が、関連する他館所蔵作品について計測・写真撮影等の調査を行い、また関連諸学会にも参加した。
- (2) 館蔵の絵画、工芸品、特に近代洋画及び近代陶磁器について写真撮影、台帳作成作業、状態確認作業を行った。
- (3) 平成22年夏季展準備のため、近代日本画壇における画家・作品の調査研究を行った(川口)。
- (4) 平成22年春季展準備のため、所蔵茶道具の調査、原稿執筆を行なった(両角)。
- (5) 平成22年秋季特別展準備のため、幕末・明治時期の金工作家・作品の研究を行った(両角)。

(二) 普及活動

(1) 列品解説

展示期間中、学芸員による列品解説を、計16回開催した。

(2) 各学芸員の執筆活動

川口直宜

「第4回日経日本画大賞展の展望と課題」 『月刊美術』 平成21年2月号

「泉屋博古館分館 住友コレクション 近代洋画展」 『静岡新聞』 平成21年4月2日

「評論家・ジャーナリストが選ぶ注目の新人アーティスト 福井江太郎」 『美術の窓』 第28巻第6号(328号) 平成21年6月

「富士に向き合う 川崎春彦日本画展 富士讃歌」 『新美術新聞』 NO. 1187号 平成21年6月21日

「春の院展(倉敷展)」(倉敷市立美術館: 6月25日・26日・27日・29日・7月6日: 山陽新聞社)

「高島屋史料館とその所蔵作品」 『夏季特別展 高島屋史料館所蔵名品展』 平成21年7月

「狩野芳崖 寿老人」 『趣味の水墨画』 第21巻第7号(247号) 平成21年10月

「泉屋博古館創立50周年記念 住友コレクションの近代洋画」 『新美術新聞』 NO. 1209 平成22年3月1日

「横山大観 霊峰四趣 春」 共同印刷株式会社 平成22年3月

両角かほる

「研究資料『江戸黄檗禅刹記』校刊と解題(五)」共同執筆 江戸黄檗研究会 『黄檗文華』 第128号 黄檗山萬福寺文華殿 平成21年7月31日

「三井家のきものと下絵展 三井家伝来小袖服飾類に関する服飾文化史的研究 現存遺品と円山派衣装下絵との関係を中心に」

共同執筆 『服飾文化共同研究報告書』 2009 文化学園服飾博物館 平成21年10月22日～12月19日

(3)職員による館外講演

・平成21年4月29日 於：佐野美術館「住友コレクションの近代洋画」講演会（川口直宜）

・平成21年6月11日 於：広島県立美術館「広島県展」審査(川口直宜)

・美術工芸品に関する講演会の開催、外部関係機関への調査協力等

(1) 外部関係機関への調査協力等

(1) 収蔵品の貸出については以下の通り実施した。

明石市立文化博物館

平成21年4月4日～5月10日

文化勲章受章 日本画家三十八人展

東山魁夷「スオミ」

佐野美術館

平成21年4月5日～5月18日

住友コレクション 近代洋画展

浅井忠「原野樹林」「グレ - の森」、藤島武二「幸ある朝」、山下新太郎「読書の後」、岸田劉生「二人麗子図（童女飾髪図）」、クロ - ド・モネ「モンソ - 公園」など55件

損保ジャパン東郷青児美術館

平成21年4月25日～7月5日

没後80年 岸田劉生 肖像画をこえて

岸田劉生「麗子六歳之像」「自画像」「二人麗子図（童女飾髪図）」

神戸市立小磯記念美術館

平成21年8月8日～10月18日

特別展 神戸の美術家 亀高文子とその周辺

亀高文子「離れゆく心」、渡辺與平「ネルの着物」

住友会館

平成20年12月9日～平成21年6月18日

小寺健吉「雪の芦ノ湖」芝田米三「静物（乙女りんご）」

尾崎良二「椿」田村直一郎「紅葉秩父山道」

平成21年6月18日～9月30日

熊岡美彦「ミモザ」小杉小二郎「窓辺の静物」

脇田 和「風」五百住乙人「静物（桃）」

平成21年9月30日～平成21年12月17日

モリス・ブリアション「牡蠣養殖場」オーギュスト・ルノアール「静物」

芝田米三「静物（乙女りんご）」田村直一郎「紅葉秩父山道」

平成21年12月17日～平成22年4月現在貸出し中

小寺健吉「雪の芦ノ湖」五百住乙人「静物」

尾崎良二「椿」川島理一郎「洋蘭素描」

(2) 各学芸員の外部出講

両角かほる 共立女子大学『博物館学各論』『博物館実習』

平成21年4月～平成22年3月

【本館・分館共通】

・美術工芸品に関する、図録・絵葉書等の発行及びミュージアムグッズの製作

(1) 図録・絵はがき等の発行

『板谷波山をめぐる近代陶磁』	1,800部	平成21年 4月
『近代洋画名品撰』増刷	600部	平成21年 6月、平成22年 2月
『高島屋史料館所蔵名品展』	2,500部	平成21年 7月
『特別展 幻の京焼 京都瓢池園』	2,000部	平成21年 8月
『紀要第26巻』	700部	平成22年 3月

作品絵はがき増刷(各500部)

(再版) 鴟鷲尊、望月玉溪《白孔雀》、小杉放菴《金太郎遊行図》、熊谷守一《野の草》

板谷波山《葆光彩磁葡萄唐草文花瓶》、宮川香山《孔雀香炉》、

藤島武二《幸ある朝》

(新版) 夔神鼓、虎占、虎罽、富岡鉄斎《桔梗図(扇面)》《掃討俗塵図》

【処務の概要】

・役員等に関する事項

平成22年3月31日現在

役職名	氏名	就任年月日	現職	最初就任日	
理事長	宮原 賢次	平20. 7.27	住友商事相談役	平20. 7.27	非常勤
常務理事	山口 信人	21. 1. 5	住友成泉社長	21. 1. 5	同
理事	朝尾 直弘	20. 7.27	京都大学名誉教授	12. 7.27	同
同	長谷部 楽爾	同	東京国立博物館名誉館員	19. 5.25	同
同	樋口 隆康	同	京都大学名誉教授	昭51. 7.27	同
同	河上 繁樹	同	関西学院大学教授	平20. 7.27	同
同	木下 政雄	同	京都国立博物館名誉館員	12. 7.27	同
同	小南 一郎	同	京都大学名誉教授	18. 7.27	同
同	西上 実	同	京都国立博物館学芸部長	18. 7.27	同
同	西川 杏太郎	同	東京国立文化財研究所名誉研究員	6. 7.27	同
同	岡山 紀男	同	住友電気工業特別顧問	20. 7.27	同
同	奥 正之	同	三井住友銀行頭取	20. 7.27	同
同	下妻 博	同	住友金属工業会長	20. 7.27	同
同	住友 吉左衛門	同	住友金属工業技監	昭61. 7.27	同
同	武田 恒夫	同	大阪大学名誉教授	平 6. 7.27	同
同	田邊 三郎助	同	町田市立博物館館長	10. 7.27	同
同	富山 秀男	同	式年遷宮記念神宮美術館館長	6. 7.27	同
同	矢野 薫	同	日本電気社長	20. 7.27	同
同	横山 進一	同	住友生命保険会長	20. 7.27	同
同	米倉 弘昌	同	住友化学会長	20. 7.27	同
監事	福島 孝一	同	住友金属鉱山会長	20. 7.27	同
同	磯野 與志嗣	21.12.16	税理士	21.12.16	同
同	高橋 温	20. 7.27	住友信託銀行会長	20. 7.27	同
評議員	安部 正一	同	住友倉庫社長	12. 7.27	同
同	藤井 順輔	同	三井住友銀行取締役兼専務執行役員	20. 7.27	同
同	藤本 勝司	同	日本板硝子社長	16. 7.27	同
同	五十嵐 久也	同	三井住友建設社長	18. 7.27	同
同	鹿島 浩之助	同	日本電気監査役	20. 7.27	同
同	加藤 進	同	住友商事社長	20. 7.27	同
同	家守 伸正	同	住友金属鉱山社長	20. 7.27	同
同	榊田 和彦	同	住友軽金属工業会長	16. 7.27	同
同	松本 正義	同	住友電気工業社長	16. 7.27	同
同	中村 吉伸	同	住友重機械工業社長	20. 7.27	同
同	小川 富太郎	同	住友ベークライト社長	16. 7.27	同
同	小野寺 研一	同	住友不動産社長	20. 7.27	同
同	佐藤 義雄	同	住友生命保険社長	20. 7.27	同
同	秦 喜秋	同	三井住友海上火災保険会長	18. 7.27	同
同	住友 信夫	同	三泉社長	15. 2.28	同
同	高尾 剛正	同	住友化学代表取締役専務執行役員	20. 7.27	同
同	友野 宏	同	住友金属工業社長	18. 7.27	同
同	常陰 均	同	住友信託銀行社長	20. 7.27	同
同	渡邊 穰	同	住友大阪セメント社長	18. 7.27	同
同	矢野 龍	同	住友林業社長	12. 7.27	同

(氏名 ABC順)

・職員に関する事項

役 職	氏 名	就任年月日	担 当 業 務	備 考
(本館) 館 長	樋 口 隆 康	昭58. 4. 2	館務統轄	
事務局長	松 崎 博 夫	平13.12. 1	財団事務総括	
兼副館長				
上席研究員	外 山 潔	昭60. 6. 1	学芸業務統括	
学芸課長	廣 川 守	平 1. 4. 1	同	
管理課主査	手 塚 公 子	16. 4. 1	管理業務	
学 芸 員	実 方 葉 子	9. 4. 1	学芸業務	
職 員	坂 井 さおり	17. 4.26	学芸業務補助	
同	田 畑 桂 子	18. 1. 4	経理・庶務業務	
上席研究員	村 山 順一郎	平20. 6. 2	X線分析業務	
(分館) 分館長兼	川 口 直 宜	12. 5. 1	分館館務統括	東京駐在
学芸課長				
管理課長	小 椋 輝 雄	17. 1. 4	分館管理業務	同
学 芸 員	両 角 かほる	10.11. 2	分館学芸業務	同
職 員	森 下 愛 子	21. 4. 1	分館管理業務補助	同

・役員会に関する事項

(イ) 理 事 会

開催年月日	議 決 事 項	備 考
平21. 5.21	平成20年度事業報告および収支決算に関する件	原案通り可決
同	公益認定申請に関する件	同
同	最初の評議員選任に関する件	同
22. 2.26	平成22年度事業計画並びに収支予算に関する件	同
同	定款変更に関する件	同
同	理事、監事及び評議員に対する報酬等支給基準規程に関する件	同
同	館則の変更に関する件	同

(ロ) 評 議 員 会

開催年月日	議 決 事 項	備 考
平21. 5.20	平成20年度事業報告および収支決算に関する件	原案通り可決
同	公益認定申請に関する件	同
同	最初の評議員選任に関する件	同
21.12.16	役員増員に関する件	同
22. 2.24	平成22年度事業計画並びに収支予算に関する件	同
同	定款変更に関する件	同
同	理事、監事及び評議員に対する報酬等支給基準規程に関する件	同
同	館則の変更に関する件	同

・許可・認可及び承認に関する事項

- (イ) 文部科学大臣より、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第92条に基づき、最初の評議員の選任に関する理事の定めについて認可を受けた。
(平成21年7月7日付21諸庁財第6083号)
- (ロ) 文部科学大臣より、科学研究費補助金取扱規程第2条第1項第4号に規定する研究機関の指定を受けた。
(平成21年7月21日付21諸文科振第6654号)

・契約に関する事項(主なもの)

- (イ) 所蔵品の保存修理請負契約締結

K染織修復研究所

能装束(唐織2点)

1,595,000円 平成21年10月19日契約

・寄付に関する事項

なし

・主務官庁指示に関する件

なし

・その他重要事項

- (イ) 上記(イ)の認可に基づいて、平成21年7月24日、評議員1名、監事1名、外部委員2名及び事務局1名で構成する最初の評議員選定委員会を開催し、公益財団法人移行登記後の、最初の評議員20名を次の通り選任した。

安部正一、藤井順輔、藤本勝司、廣瀬博、五十嵐久也、鹿島浩之助、加藤進家守伸正、松本正義、中村吉伸、小川富太郎、小野寺研一、佐藤義雄、秦喜秋住友信夫、友野宏、常陰均、渡邊穰、山内重徳、矢野龍

- (ロ) 平成21年5月、及び平成22年2月開催の理事会、評議員会において定款変更その他必要事項の決議を行ったのち、平成22年3月3日付で、内閣総理大臣に対し公益認定申請書を提出した。

- (ハ) 下記の通り特定資産の取り崩しを実施した。

	取り崩し額	(予算計上額)
保存公開事業積立資産	20,000,000円	(50,000,000円)
調査研究事業積立資産	10,000,000円	(10,000,000円)
合計	30,000,000円	(60,000,000円)

以上